

文化財 せんだい



No. 140

令和7年(2025年)3月発行

仙台市教育委員会文化財課

仙台市青葉区上杉一丁目5-12

上杉分庁舎 10階

〒980-0011 Tel:022-214-8893

仙台市文化財課

検索

最新調査報告!!

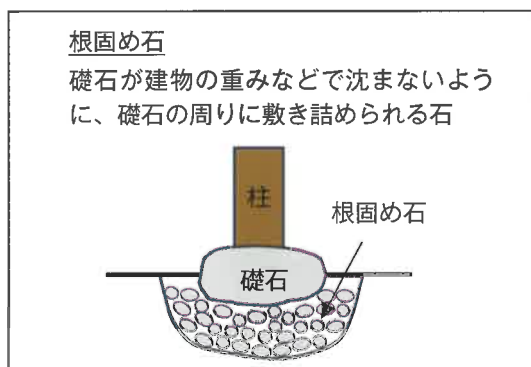
仙台城大手門の 痕跡を新たに発見!!

入庁して6年目になる私は、今年度の仙台城跡の発掘調査を担当しました。調査では大手門の柱の痕跡(礎石跡)が新たに1箇所確認され、根固め石と呼ばれる礫の集中が見つかりました。昨年度の成果と、古写真から対応する柱を推測すると、今回見つかった礎石跡は、大手門の南西隅の柱の位置に当たります。そのほか、大手門・大手門脇櫓の周囲を巡る雨落ち溝(石組側溝)を確認するなど、古写真に写る痕跡を実際に目にすることができ、私にとって思い出深い調査となりました。

(担当：木村)



令和6年度の調査地点



かめ 甕の中から出てきたものは?!

入庁10年目になる私は、宮城野区岩切にある羽黒前遺跡で令和3・4年度に発掘調査を行いました。この調査では、2つの土師器の甕を組み合わせて埋める土器埋設遺構を発見しました。詳しく調べてみると、甕の中には焼けた人骨が埋葬されており、これらの甕が棺として使われ、土器埋設遺構がお墓であることがわかりました。土器埋設遺構から人骨が発見されることは珍しいため、驚いてしまいました。

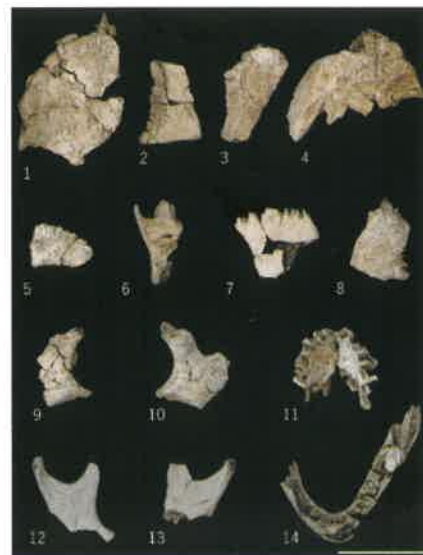
焼けた人骨を科学的に分析してみると、この人骨は平安時代(10世紀前後)の壮年期(20~39歳)~熟年期(40~59歳)の女性の可能性が高いという結果が出ました。

この場所に埋葬された女性はどんな人だったのでしょうか?

(担当：高橋)



発見した古代のお墓



甕の中に埋葬されていた人骨

文化財課職員が語る！わたしと文化財

若手職員、小岩さんと文化財の出会い「あなたのすぐ近くにも!? 私と遺跡との出会い」

私は土器を道端で探すこともなく、縄文オタクでもなく、お城好きというわけでもない、日本の歴史にはあまり関心のない子供でした。ただ世界遺産は好きで、世界の不思議を発見する番組のエジプト特集を録画し、食い入るように何回も見ていた記憶があります。そんな私が、あまり興味のなかった日本の遺跡にしっかり目を向けるようになったのは大学に入ってからです。大学で初めて本物の古墳時代の土器を触ったときから、**その虜になってしまいました。**古墳時代の人々が土器を作る際に残した跡を見ることで、その人がどれだけ丁寧にその土器を作ったのかを知ることができます。何回も磨きをかけて作られているものを見ると、**約1500年前の人へ尊敬の念**を抱きました。

日本には本当に多くの遺跡があります。この仕事を始めて最初に思ったことは、遺跡は想像以上に自分の身近にあるということです。右の写真のように、住宅地のど真ん中で発掘調査をすることもあります。もしかしたら、皆さんが住んでいる場所の下にも重要なものが眠っているかもしれません。

私は今、昔の自分に声を大にして言いたい。もっと身近な歴史を見てみる！すぐ近くにすごいものがあるぞ！



住宅地の中での発掘調査
(富沢館跡)

ベテラン職員、鈴木さんのイチ推しの文化財「小さな甕のマジカルパワー」

「この小っちゃいの、いったい何に使うんだ？」最初に発掘で豆まめ甕を見た時の感想です。私のイチ推し文化財として、今回はこの豆甕の謎についてご紹介します！

第二次世界大戦中のこと。青葉区堤町でカメッコという手のひらサイズの甕が作られていました。市民は、**子どものせきがひどい時にこれを買い求め、治ると数を倍にして神社におさめた**そうです。

このような小甕を使ったまじないが仙台で始まったのは、いつ頃でしょうか？遺跡から見つかる幕末頃の遺物に、豆甕と呼ぶ高さ3～4cmの陶器があります。これらの産地は大堀相馬(福島県相馬市)が多く、ほかに切込(宮城県加美町)や堤焼とみられる遺物もあります。これまで市内の遺跡から50点ほど見つっていますが、うち半数は仙台城跡から出土したものです。

これらが実際どう使われたのかはよくわかりません。ただ手がかりとして、幕末頃に建てられた古民家の屋根裏から、ワラに包まれて見つかった豆甕があります。その切込焼の豆甕の中に米粒が詰められていた例もあることから、**豊作や家の繁栄を願ったもの**だと考えられます。もし仙台でも同じだったとすれば、小さな甕に祈りを込めるまじないは、幕末頃には仙台城内も含めて流行し、そして、いつしかカメッコ信仰として市民の間に広まっていったのかも知れません。



仙台城跡出土豆甕(左：高さ3.1cm)と
堤町で作られたカメッコ(右：高さ5.3cm)



古民家から見つかった豆甕
(切込焼記念館提供)

★公式X「文化財課 広報」はこちらから！



文化財に関する
最新情報発信中!!
ぜひご登録を♪

★調査区等の3Dモデルを作成しています♪



随時更新中！調査区等
を立体で確認できます。
ぜひ見てみて下さい♪



この広報誌は雑誌として
リサイクルできます